

浜田川総合開発事業竣工式

令和2年10月6日

皆さんおはようございます。ただいまご紹介にあずかりました、島根県知事の丸山でございます。事業発注者と致しましてのご挨拶をさせていただきます。

本日ここに、浜田川総合開発事業の竣工式を挙げていたしまして、公私ともに大変ご多用の所、ご来賓並びに関係の皆様方には、このように多くのご臨席を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。

さて、本年7月13日からの大雨によりまして、江の川流域が氾濫し、住宅等に甚大な被害が発生したところであります。被災された方々に、心からお見舞いを申し上げますとともに、島根県といたしまして生活の復旧復興に全力を尽くしていくという覚悟でございます。

そして、ここ浜田川におきましては、昭和58年7月、昭和63年7月の梅雨前線豪雨によりまして、未曾有の洪水に見舞われ、浜田市中心市街地が浸水するなど、甚大な被害が発生しました。加えて、昭和53年、昭和59年、平成6年等の夏場には、深刻な水不足に見舞われるなど、安定的な用水の確保も大きな課題となってきたところであります。

これらを踏まえまして、抜本的な治水事業、そして用水取水の安定化、河川環境の保全を目的といたしまして、平成5年に浜田川総合開発事業として建設採択していただいて以来、25年余りの歳月と総事業費472億円をかけまして、第二浜田ダムの新規建設と浜田ダムの機能強化を目的とした再開発を進め、本日ここに竣工式を迎えることができました。

これもひとえに先祖伝来の貴重な土地を提供して頂きました地権者の皆様、地元の皆様をはじめ、多くの方々のご協力、関係機関のご指導ご尽力の賜でありまして、この場をお借りしまして深く感謝申し上げます次第であります。本当にありがとうございました。

昨今の気象の変化等によりまして、各地で発生する台風や梅雨前線等によります集中豪雨は、年々その頻度、規模ともに大きくなり、大規模な被害が全国で多発している中で、ダムによる治水対策は有効な、有力な手段の1つであります。

平成25年の出水では、既に完成したダムとして機能しておりました第二浜田ダムにより、河川の水位を大幅に低減させ、流域の氾濫を抑えることができたところであります。

県といたしましては、県民の皆様の安心安全な生活を確保し、より一層災害に強い県土づくりを進めると共に、笑顔で暮らせる島根を実現するため島根創生に全力で取り組んで参る覚悟でございます。

本日ご出席の皆様方には、今後とも格別のご理解とご協力、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、当地域のますますのご発展と、本日ご臨席の皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。式辞とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。